

ICT を活用して障がい児の学習・生活支援を行う 「魔法のプロジェクト 2016 ～魔法の種～」の 成果報告会を開催

～70の協力校の中から25校の事例を紹介～

ソフトバンク株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：宮内 謙）とソフトバンクグループで教育事業を担う株式会社エデュアス（本社：東京都港区、代表取締役社長：藤井 宏明）、東京大学先端科学技術研究センター（所在地：東京都目黒区、所長：神崎 亮平）は、2017年1月21日に携帯情報端末を活用した障がい児^{※1}の学習・生活支援を行う事例研究プロジェクト「魔法のプロジェクト 2016 ～魔法の種～」(以下「魔法の種プロジェクト」)^{※2}の成果報告会を開催します。

「魔法の種プロジェクト」では、2016年4月から、70の特別支援学校、特別支援学級および通常学級に所属する児童・生徒などと教員・特別支援教育の分野で臨床研究を行う大学生または大学院生を2人1組にした77組に、計172台の携帯情報端末を貸し出し、教育現場および日常生活の場で活用してもらっています。今回の成果報告会では、25校の事例を紹介するとともに、各校の取り組み内容を会場内に展示します。

※1 認知やコミュニケーションに困難のある障がい児、自閉症、読み書き障がい、知的障がい、肢体不自由、聴覚障がいなどを含みます。

※2 「魔法の種プロジェクト」の協力校については、2016年4月15日にプレスリリースを実施しています。

■「魔法の種プロジェクト」成果報告会について

1. 日時

2017年1月21日（土） 午前9時30分～午後4時30分（受付開始：午前9時）

2. 場所

東京大学先端科学技術研究センター3号館南棟 ENEOS ホール／セミナー室

（所在地：東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学 駒場IIキャンパス）

※ グループ別シンポジウムは、ENEOSホールとセミナー室に分かれて実施します。

3. プログラム

午前9時 受付開始

午前9時30分 オープニングセッション

中邑 賢龍（東京大学先端科学技術研究センター 人間支援工学分野 教授）

特別支援教育の分野で臨床研究を行う「魔法の種プロジェクト」参加学生

午前10時5分 グループ別シンポジウム（実践事例紹介）

(1) テーマ：学習（感覚障がい、発達障がい）

大分県立聾学校、葛飾区立住吉小学校、熊本市立榆木小学校、世田谷区立希望丘小学校、狛江市立緑野小学校、川崎市立川中島小学校

(2) テーマ：生活（知的障がい、自閉症）

大阪府立和泉支援学校、東京都立南花畑特別支援学校、広島市立城山中学校、町田市立南つくし野小学校、東京学芸大学附属特別支援学校、沖縄県立大平特別支援学校

(3) テーマ：環境調整（肢体不自由、重度重複障がい）

大分県立別府支援学校鶴見校、大分県立別府支援学校石垣原校、大阪府立寝屋川支援学校、神奈川県立相模原中央支援学校、秋田県立秋田きらり支援学校、沖縄県立泡瀬特別支援学校

午前 11 時 45 分

ポスターセッション

午後 1 時

教員の表彰

午後 1 時 15 分

基調講演

中邑 賢龍

午後 1 時 50 分

全体シンポジウム（実践事例紹介）

仙台市立五城中学校、北九州市立小倉総合特別支援学校、武雄市立北方中学校、香川県立高松養護学校（2 事例）、長野県稲荷山養護学校、松江市立意東小学校、大分県立別府支援学校

午後 4 時 30 分

閉会

4. 参加対象者

特別支援教育関係者・保護者をはじめ、どなたでも参加できます。

5. お申し込み

ホームページ（<http://kokucheese.com/event/index/437480/>）よりお申し込みください。

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、本お知らせに記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。